

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
資料配付

配付 平成29年10月10日
日時 本資料の配付をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会第2回定例会議を開催しました — 審議概要を公表します —

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会は、平成29年度第2回定例会議を平成29年9月12日に北陸地方整備局で開催しました。

平成29年4月から6月までの間に発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務及び物品の製造等の中から委員が無作為に抽出した6件の事案について、競争参加資格の設定の理由及び経緯や競争入札に係る指名の理由及び経緯等について審議を行いました。

審議の概要について、別紙のとおりお知らせします。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」において第三者の意見を適切に反映する方策を講ずることとされていることを踏まえ、公共工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験等を有する者で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約についての審査等の事務を行います。委員会には第一部会と第二部会があり港湾空港関係は第二部会で審議されます。

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ
福井県政記者クラブ

問い合わせ先

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
電話 025-370-6650（経理調達課）
契約管理官 高橋 孝広
経理調達課長 山本 陽介

北陸地方整備局入札監視委員会（第二部会第2回定例会議） 審議概要

開催日及び場所		平成29年9月12日（火） 「北陸地方整備局」（新潟市中央区美咲町1-1-1）	
委員		部会長 鈴木 高志（弁護士） 出席 部会長代理 根岸 睦人（新潟大学准教授） 出席 委員 西方 太地（公認会計士） 出席 部会委員現在数3名 出席3名	
審議対象期間		平成29年4月1日～平成29年6月30日	
抽出案件		総件数 6件	(備考)
建設工事	一般競争入札方式 (WTO対象外)	3件 新潟港（東港地区）西防波堤改良工事 伏木富山港（富山地区）岸壁（-10m）（2号）（改良）築造工事 敦賀港合同庁舎電気設備工事	
建設 コンサル タ ン 等	一般競争入札方式	1件 敦賀港・福井港海岸品質監視等補助業務	
	簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式)	1件 新潟港深淺測量	
役 務 品 及 び	一般競争入札方式	1件 海象観測装置定期点検・保守業務	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等		意見・質問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		な し	

意見・質問	回 答
<p>【入札・契約手続の運用状況等】</p> <p>〔入札方式別発注工事等一覧〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔指名停止等の運用状況一覧表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔再度入札における一位不動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔談合情報等の状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（当局より審議対象期間にあった談合情報により入札を取り止めた案件についてご説明後）その後、何か動きはあったか。過去の発生状況はどうなのか。 ・前回の平成22年の談合情報については、今回と同じ様に談合情報を公正取引委員会、警察庁へ情報提供を行い処理したと思うが、その後、談合の事案は判明したのか。 ・整備局として談合の状況を防ぐような対応をしていく必要があると思うが、議論は行われたか。ふせぐ仕組みみたいなものが、マニュアルにあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の結果、談合の事実は確認できなかったが、談合情報については、公正取引委員会及び本省を通じて警察庁へ情報提供をおこなっており、その後の情報については、入っていない。過去の発生状況については、平成22年2月に談合情報があった。その後、談合情報はない。 ・平成22年の事案については、談合事実の有無は判明しなかった。 ・平成22年の事案については議論は行われていない。マニュアルについては、事実が起きた時に事務処理を行うものであり、防ぐ仕組みが記載されているものではない。当局としては、落札価格が高止まりしていた場合など、結果をみて談合の疑いがあるかということをチェックしている。

意見・質問	回 答
<p>【抽出案件】</p> <p>1 建設工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外） 「新潟港（東港地区）西防波堤改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ型だから、金額でみれば調査基準価格に近い者でなく、加算点の高い者が落札したのか。 <p>・過去の3年の受注状況はどうか。</p> <p>・今回、B等級に落とした主旨は何か。</p> <p>2 建設工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外） 「伏木富山港（富山地区）岸壁（-10m）（2号）（改良）築造工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3 建設工事：電気設備工事 一般競争入札方式（WTO対象外） 「敦賀港合同庁舎電気設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者の評価について、地域貢献に作業船の保有が記載されている。今回は、電気設備工事であり作業船を入れる意味があるのか。 <p>4 建設コンサルタント業務等：建設コンサル等 一般競争入札方式 「敦賀港・福井港海岸品質監視等補助業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで地方整備局の職員が行っていた業務では無いと思うが、業務内容の実態を教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ型は、標準型と比較すると企業・技術者の実績評価の比率を下げている。また、施工計画の評価は、標準型の「可否」評価に対し、チャレンジ型は1テーマ15点満点で2テーマを点数化して評価する方式であり、加算点40点のうち施工計画の評価が30点である。本工事の落札者は、施工計画が最も高く評価されたので、評価値が最も高くなり、落札者となったものである。 <p>・直近の据付工事は、25年で、そこから遡って平成22年から25年までは、A等級の発注となっている。</p> <p>・予算の都合によるものである。本工事の予算は単年度予算で、その年度によって付く予算の状況は違い、今回はB等級の発注となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業船の保有は、今回の工事になじまないものであるが、地域貢献については災害に対しての貢献を意識した評価となっている。 この評価は、作業船を持っていれば災害時に貢献できるであろうという観点で設定しており、一律に建築工事についても評価しているが、今後見直しの検討をしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年の民間でできることは民間とする「民間競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」が施行され、国土交通省においても発注支援業務関連については当該法律に則って、民間に外注するため実施要項を定めて第三者機関により審査頂き、競争入札を実施している。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> • 一番の問題点は機密情報と思うが、安全性の確保はどの様に行っているのか、また、これまで、特に問題となったことは無いのか。 • 落札率が予定価格と近い99.2%となっている。過去の落札率の割合は。 • 業務の主たる部分を再委託にすることがあるのか、更に下請けに出している可能性はあるのか。また、過去の実態は調べているのか。 • 基本的に再委託はしないで、自前で行うことか。 • 履行確実性の審査が行われ、ゼロと評価されたが、なぜゼロとなったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「民間競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」において、罰則規定が設けられており、機密を漏らしたり盗用した場合の懲役又は罰金について定めている。また、競争参加要件に業務の中立・公平性について定めており、本業務の履行期間中に工期がある対象工事に参加している又は、その対象工事に参加している者と資本面・人事面で関係している者は参加出来ないこととしている。 これまで問題になったことは無い。 • 過去4回あり、平成23年度は99.75%、平成24年度は97.81%、平成25年度は業務期間が2ヶ年となっており95.93%、平成27年度も業務期間が2ヶ年で96.05%となっている。 • 過去は無いと思う。競争参加資格確認申請書において再委託の有無を確認しており、再委託は無いことを確認している。 • 自前で行っている。 • 追加資料によりヒアリングを行ったが、業務を実施するための必要額の計上根拠、配置予定技術者のへの適切な報酬について、本業務の内容に対して具体性や整合性を確認するに至らなかったことから、ゼロと評価した。
<p>5 建設コンサルタント業務等：調査・測量 簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） 「新潟港深淺測量」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特になし 	
<p>6 役務及び物品：役務の提供 一般競争入札方式 「海象観測装置定期点検・保守業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 参加した者が1者ということだか、これまでどうだったのか。 • 2回目の入札において、入札者は自分しかいないと知っているのか。 • 調査基準価格は、予定価格の6割くらいであるが、幅は整備局で決めることができるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 過去も1者である。競争性を確保するため、資格要件を拡大しているが、1者の参加となっている。 • 入札者は、入札参加者の数を知らない。 • あらかじめ国土交通省が財務大臣と協議の上、ルールを決めているので、整備局で幅を決めることはできない。

審議案件詳細

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式 (WTO以外)	新潟港(東港地区)西防波堤改良 工事	港湾土木工事	5	3 外2者無効	H29.4.21	(株)加賀田組	188,091	90.18%
一般競争入札方式 (WTO以外)	伏木富山港(富山地区)岸壁(- 10m)(2号)(改良)築造工事	港湾土木工事	5	5	H29.6.20	若築建設(株)	287,280	90.75%
一般競争入札方式 (WTO以外)	敦賀港合同庁舎電気設備工事	電気設備工事	3	1 外1者辞退、 1者無効	H29.5.31	山二工業(株)	17,906	94.77%

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	敦賀港・福井港海岸品質監視等補 助業務	建設コンサルタント等	2	2	H29.4.3	(株)ポルテック	66,212	99.20%
簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式)	新潟港深淺測量	測量・調査	8	5 外2者無効、 1者欠格	H29.4.12	(株)ナカノアイシス テム	37,476	79.91%

【物品・役務等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	海象観測装置定期点検・保守業務	役務の提供	1	1	H29.6.30	(株)ソニック	42,660	93.11%